

INFORMATION

お寺で遊ぼう 徳泉寺 de 絵本キャラバン

～絵本でつなごう

「へいわの輪プロジェクト」～

日時 2023年2月26日(日)
10:00～17:00

内容 絵本キャラバン(同朋会館)
昔遊び(本堂・境内)

ボランティアスタッフ

募集中!

みやぎ生協主催の「絵本キャラバン」。徳泉寺を会場に開催することになりました。詳細は後日お伝えしますが、けん玉、お手玉、こま回し、折り紙などの昔遊びを一緒にしてください。ボランティアを募集します。来られる時間だけで構いませんので、興味ある方は徳泉寺までご連絡ください。

今月のことば

ぼくらはみんな
生きています
ぼくらはみんな
生きています
ぼくらはみんな
生きています
うれしいんだ
うれしいんだ
うれしいんだ

アンパンマンの作者として知られる、やなせたかしさんが作詞された「手のひらを太陽に」の1番と2番の冒頭部分です。悲しみも喜びも私たちにとって大切なことです。それは良い悪いではなくどちらも自分の心として受けとめて生きていこう、と呼びかけられているように感じます。

一月 同朋会は お休みです

修正会 ご案内

二〇二三年一月二日(日)
午前一〇時三十分から
勤行法話

元日法要を勤修します
新しい年の始まりをみな
さまと共に迎えできれ
ばと思います。どうぞお
出かけください。

住職法話「別れによって深く」

十一月同朋会より

お世話になった先輩の住職方が続けて亡くなっていかれました。自分で書かれた絵や文字を使って、聞く人が目で見て考えられるように心がけておられたお姿。震災後の避難で思うように集まれないお寺に、若手の僧侶にも声をかけて集いを持ち続けられたお姿。お二人の見せてくれたお姿や作ってくださった場があって、今の私となっているのだと感じます。「人は出会いによって育てられ 人生は別れによって深められる」。いつでもそこにいると思っていた方のお姿に会えない、声を聞くことができなかつた響きをもって私たちに改めて届けられているのだと思います。蓮如上人の『白骨の御文』に「人間の浮生なる相」とあり、根無し草のように状況によって揺れ動く私の姿を言い当てておられます。別れを通して、亡き方の声なき声、姿なき姿で、右往左往している私が人生を生ききっていくことを願ってくださっているのではないのでしょうか。

前住職法話「お念仏は難しい？」(抜粋)

南無阿弥陀仏と称えるお念仏ですが、一般に考えられているお念仏と親鸞聖人のおっしゃっているお念仏には大きな隔たりがあるように感じます。一般的にはいわば呪文のように「南無阿弥陀仏」を称えれば先祖供養になるとか、今の生活にご利益をいただけるかと考えがちです。これは、私が私のために私の都合で称える念仏です。しかし、親鸞聖人がおっしゃるお念仏は全然違います。親鸞聖人は「念仏は私の口から出ているけれど阿弥陀仏が私の口を借りて出てくださいている」のだと言います。つまりこれは念仏と言っても、仏を念じるのではなく、仏に念じられている私に気づくという行為だということです。では、何を仏は念じているのでしょうか。それは自我いっばいの私たちに「本来の自分に帰りなさい。命いっばい生ききりたいと願っているあなたの本当の願い(志願)に気づきなさい。」ということだと思います。これが阿弥陀の本願です。その私のことを念じてくれている阿弥陀仏に帰依します、と私の口から出るのが南無阿弥陀仏です。